

平成26年度 事業実施報告書

（事業報告書の順に記載）

情報部会

自然観察部会

エコライフ推進部会

里山保全部会

再生可能エネルギー部会

その他の活動

学習センター事業部



指定管理者として運営する宇都宮市環境学習センター（平成27年1月撮影）

情報部会

1) ホームページの全面改訂とメルマガの発信



新しくなったホームページ

26年度のホームページの運用は低調でしたが、年度末にホームページを全面改訂し、よりタイムリーに情報発信できる仕組みになりました。これにより運営経費も削減できました。

今後、活動状況など発信頻度を向上し、会員の皆さまへの情報提供につとめたいと思います。

一方、メルマガを8件発信し、会員へのタイムリーな情報発信に努めました。

2) 会報誌 (Eco together) の発行



年間4回、7・9・12・3月に41～44号を発行しました。今年度から編集者が交替し新しい目で編集をすすめました。部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい構成に心がけました。また、「環境クイズ」も復活し、時機を得たテーマで話題を提供しています。

今後も、親しまれ機能する会報を目指し、改善を進めていきます。

3) 環境イベントへの参画

① もったいないフェア2014 9月28日(日)

宇都宮城址公園(本丸町) 10:00~15:00
全体来場者数30,000人(7-来場者数約400人)
スタッフ6人(フォーラム理事・部会長他)

雲ひとつない晴天に恵まれ、多くの来場者を得ました。今年も自然に親しむ体験教室として「どんぐり工作」を行いました。来場者が途切れることなくスタッフも昼食がとれない程でした。ブース一番の賑わいということで新聞社の取材も受けました。

- ・フォーラム活動紹介をパネル展示
- ・県内の再生可能エネルギー普及状況をパネル展示
- ・里山保全活動をパネル展示
- ・体験型展示:「どんぐり工作」
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布 等



人の絶えないフォーラムブース



親もスタッフも“てんやわんや”のどんぐり工作

情報部会（つづき）

② エコ・もりフェア2014 10月11日（土）

子ども総合科学館（西川田町）
9:30～16:00 スタッフ3人
全体来場者数7,000人（ブース来場者数約150人）

「もったいない」をテーマに、ペットボトルキャップや
不用になったボール紙をつかって帽子をつくる体験型
展示を実施し、たいへんな人気でした。

- ・フォーラム活動紹介のパネル展示
- ・「水環境は世界のテーマ」のパネル展示
- ・体験型展示：「エコキャップハットづくり」
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布 等



席が空くのを待てずに立ったままの作業も

③ エコテック&ライフとちぎ2014 12月6日（土） ～7日（日）

マロニエプラザ（元今泉） 10:00～15:00
全体来場者数 3,100人（ブース来場者数約100人）

県内最大のエコの祭典とも言われるこのイベントは「エコ体験を、
もちかえろう」をテーマに、多彩な内容で開催されました。
フォーラムの紹介、環境学習センターの紹介、そして体験教室と
して牛乳パックでリサイクル工作「キュービックパズル」と
「フリスビー」の制作を行いました。



お母さん方が夢中に

④ 環境学習センターエコまつり2015 2月27日（金）～3月1日（日）

宇都宮市環境学習センター（茂原町）
10:00～16:00（最終日 15:00）来場者3,107人

フォーラムが運営する環境学習センターの最大イベント「エコまつり2015」を開催しました。
来場者数は、3,107人と過去最高を記録することができました。来場者のアンケート結果をみると
「満足+まあ満足」が98%あり、高い評価を得ることができました。
今回は国の援助を得て、来場者の車の二酸化炭素も含めたカーボンオフセットを実施することができました。
今年のテーマは「身近にあるもったいないを発見しよう」で、生活を見直すきっかけにいただきました。
フォーラムから「再生可能エネルギー部会」が出展し、県内の再生可能エネルギーの実態と可能性について
解説を行いました。



晴天に恵まれた2日目



再生可能エネルギー部会の展示ブース

自然観察部会（野鳥観察・星空観察）

① 春の野鳥観察会 5月10日（土）

鬼怒川河川敷（上桑島町）緑地運動公園 9:00～12:00
スタッフ5人 参加者13人
風もなく穏やかな春の一日、水面を優雅に飛ぶコアジサシ、コバルトブルーが美しいカワセミも見ることができました。



美しいカワセミを発見！

② 冬の野鳥観察会 12月6日（土）

鬼怒川河川敷（上桑島町）緑地運動公園 9:00～12:00
スタッフ5人 参加者18人
雲ひとつない青空、風のない絶好の観察日和でした。
ゆっくりと歩きながら25種もの野鳥を観察できました。
期待していたカワセミが1羽、美しい姿を見せてくれました。



出発前の説明を聞いて

③ 星空観察会 2月7日（土）

環境学習センター 18:00～20:00
スタッフ8人 参加者56人
冬の大きな三角や下弦の月が見られる冬の星空観察会は人気があります。初めにシアターに集合、星や月の話を聞きました。暗くなってから外に出ましたが、厚い雲がなかなかとれずに残念ながら星が見えませんでした。



参加者のアイスブレイクから始まりました

④ 環境学習センター支援事業

④-1 天体望遠鏡づくり講座 7月27日（日）

環境学習センター 9:30～11:30 / 13:30～15:30
スタッフ5人 受講者合計89人
親子対象の環境学習講座を支援。午前・午後の各回で定員を超える方々からの申し込みを頂き、宇宙や星、自然について関心を持っていただくきっかけとなる講座が実施できました。



親子で夢中になってつくりました

④-2 冬の星空観察会 12月13日（土）

環境学習センター 18:00～20:00
スタッフ6人 受講者51人
受講者は、普段はなかなか見ることのできない大きな天体望遠鏡で星の観察を楽しみました。双子座流星群の接近が話題になるなかの観察会でした。
芝生にグランドシートを張って、寝転んで流れ星を見る方法を取り、子どもたちに人気がありました。



星を見た感想を教えてください

参加者合計 約260人

各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業
エコライフ推進部会

① 新体制での活動のあり方を検討

担当部長交替に合わせ、あり方の検討を進めてきましたが、具体的な計画立案までには至りませんでした。
来年度は、時機を得たテーマ「生物多様性」という切り口での部会立上げを検討しました。

② 「エコライフ推進部会」環境学習センター支援事業

②-1 エコライフの達人

「烏山和紙すき体験と温泉トラフグ施設見学」

10月2日（土）9:30～16:20

スタッフ3人 受講者33人

伝統ある烏山和紙すきを体験し、先人たちの知恵を学びました。

また、身近にある温泉や廃止となったプールを有効活用した施設を見学し、エコライフに必要な柔軟発想の大切さを学びました。



思ったより難しかった和紙すき

②-2 オドロキの農業見学会

10月25日（土）9:00～16:00

スタッフ3人 受講者38人

宇都宮大学附属農場で、収穫後のコメの処理や分析の実際を見学しました。

また、民間稲作研究所において、有機農業の取組みを見学と講義により学びました。



「稲」から「米」に
子どもたちも作業体験に参加



農薬・添加物・遺伝子など多岐にわたる講義

里山保全部会

① 里山環境の保全

本プロジェクトで実施すること

1. 雑木林の清掃（ごみ等の除去）
2. 雑木林の笹や倒木の整理
3. 雑木林の下草刈りと落ち葉さらい

本プロジェクトにより得られるもの

1. きれいになってゆく雑木林の景観
2. 枯れ木の中や落ち葉の下に棲む虫の観察
3. カブトムシやクワガタの発生（1年後）
4. ~~きのこの発生やシイタケの栽培（将来）~~
5. 春植物の復活（将来）
6. 望ましい姿で存在する雑木林の拡大



<継続活動中 毎月第3日曜日 9:00~12:00 頃>
実績を別添資料に示す

(延べ 51人)

② 環境学習・環境教育の場の提供

②-1 環境学習センター支援事業

<プログラム内容>

「森のなかま：フィールドビンゴなど」

11月23日（日）10:00~12:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ3人 参加者20人（親子）



林の中でフィールドビンゴ

「落葉さらいと焼きいも」

12月21日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地 スタッフ7人 参加者18人（親子）



スタッフの解説で野鳥観察

「冬の野鳥観察」

1月4日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ5人 参加者19人（親子）

②-2 瑞穂台小学校体験学習を担当（地域支援活動）

10月10日（金）9:00~11:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ2人参加者26人（1~6年生）

小学校総合学習の「里山体験」コースを企画し受け入れました。里山にある動植物を観察するとともに、どんぐり工作と丸太切りを体験しました。地域貢献活動の一つで、後日、お礼の手紙をいただきました。



体験学習でどんぐり工作

②-3 親子向け体験講座

「里山と川の野鳥観察」

2月1日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ5人 参加者11人（親子）

「落ち葉さらいと焼きいも」

2月15日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ7人 参加者48人（親子）



親子で落ち葉さらい

参加者合計 約210人

再生可能エネルギー部会

部会活動活発に

栃木県における「再生可能エネルギー」に注目し、その確実な進展に向けて、市民とともに学び・発信していくこと、平成24年度部会が設立されました。25年度には県内の再生可能エネルギーの実態調査を終え、調査結果は環境学習センターに常設展示されています。

26年度も、精力的に勉強会を実施するとともに、環境学習センターで開催された「エコまつり」ではブースを出展し部員が市民に積極的に情報発信しました。

また、環境学習センター主催の再生可能エネルギー施設見学会の企画運営を行うなど幅広く活動を進めていることが評価され、新会員が入会するなど活動が強化されています。

① 月例勉強会

毎月1回（原則第4土曜日）、環境学習センターで実施し講師を交替でつとめ、研鑽を積んでいます。
テーマは、エネルギー基本計画、J-クレジット、太陽光発電の導入状況調査、栃木県地球温暖化対策計画など、幅広く扱っています。

（延べ参加 62人）



部会風景

② エコまつりにブース出展

2月27日（金）～3月1日（日）
環境学習センター1階展示場
展示ブース来訪者 約50人

部会が足で稼いで集めた栃木県内の再生可能エネルギーの普及状況調査結果をパネル展示、宇都宮工業高校と共同で開発した不用自転車を利用したマイクロ水力発電の試作機の展示などを行いました。（釜川に短期設置）
市民の方が、再生可能エネルギーに強い関心があること把握できました。



県内の再生可能エネルギーを紹介

③ 環境学習センター支援事業

バスで行く県内の再生可能エネルギー施設見学会を昨年に続き企画運営しました。
普段みることのできない再生可能エネルギー施設見学で、参加者は大きな驚きと感動を得ました。
11月19日（水）9：00～16：45 48人参加



小水力発電の寺山ダム（矢板市）



県内最大級ソフトバンクメガソーラー



食とエネルギーの自給自足58ゴルフクラブ

参加者合計 約160人

その他の活動

① 足尾植樹体験（環境学習センター支援事業）

8月2日（土）9:00～16:30 スタッフ3人 参加者44人（親子）
荒廃裸地化した足尾の環境を再生する人々の活動を、体験を通して知ることを目的に、親子で参加するバスツアーを企画運営しました。



こんなに大勢で植樹



雷がきたので大急ぎで下山

② プチ農業体験プロジェクト（地域活動支援事業）

地元さつきのプロジェクトチームとの共催で、農家の畑をお借りしておいし〜いお米をつくりました。田植え・自然探検・稲刈り・収穫祭・焼いもと、一年を通じて親子で自然に親しむ楽しい講座になりました。

- 5月 4日（日）レンゲ祭り
- 5月17日（土）田植え
- 7月20日（日）自然探検
- 9月14日（日）稲刈り・天日干し
- 10月17日（土）収穫祭（新米食べ比べ、脱穀体験など）
- 12月 7日（日）焼いも

延べ参加 180人（親子）



みんなで稲刈り



稲の育ち方を教えてくれる



収穫祭で焼き芋も・・・

参加者合計 約230人

学習センター事業部

平成26年度の年間利用者盛り返す

指定管理者2期目の初年度（26年度）は、昨年度の落込みから盛り返し、過去最高水準を記録しました。

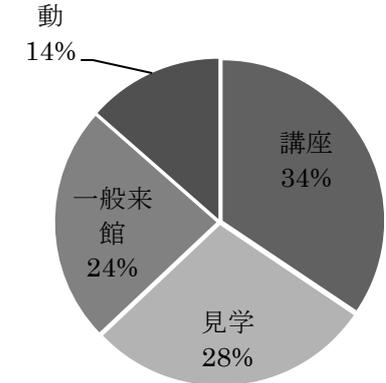
累計利用者37万人に

平成13年開設以来、14年が経過しましたが、累計利用者は37万人までになりました。

環境学習講座をフォーラムも支援

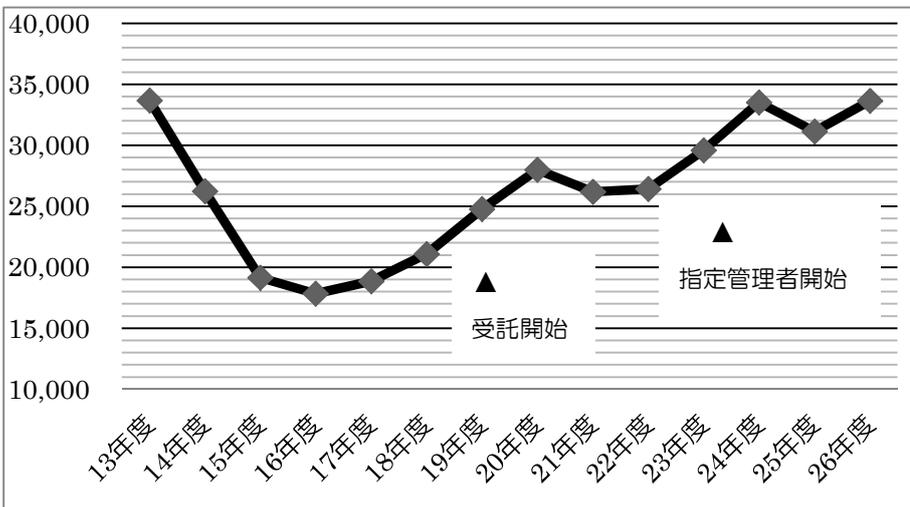
主力事業である環境学習講座の利用者は、大きくのび34%（11,597人）と過去最高を記録しました。フォーラムもいくつかの講座の企画運営を担当し、利用者増に寄与しています。

26年度利用者分布



年間利用者数 33,644人

(人) 年間利用者の推移 (H13~H20環境フェア含む)



「エコまつり2015」は過去最高の来館者（3,107人）を記録しました。

① 環境学習機会提供機能

主力事業である環境学習は、講座内容の充実、広報活動の強化により参加者が増加しています。

□「地球温暖化」を重要テーマに、環境大学・講演会・見学会を開催しました

◆環境大学（前期・後期 各5回シリーズ）



前期「物流と環境」
東郵便局で自動仕分け機を見る



後期「地球温暖化とその対応」
那珂川バイオマス発電所を見学

◆地球環境 NOW 講演会（1月）



「地球温暖化を市民目線で見る」
WWF ジャパン 小西雅子氏の講演は大人気

◆再生可能エネルギー施設見学会（11月）

/フォーラムの再生可能エネルギー部会が企画運営/

- ①小水力発電の寺山ダム
- ②県内最大級のソフトバンクのメガソーラー
- ③食とエネルギーの自給自足ファイブエイトゴルフクラブ



□「生物多様性」に着目し、体験型の新しい講座を企画しました。



宇都宮の川で遊ぼう・調べよう（8月）



渡良瀬遊水地で、生物多様性を考える（9月）

② 活動支援機能

□講座卒業生で構成される自主グループは、9グループまで増え活動を継続しています。
環境学習センター最大のイベント「エコまつり」では、ワークショップを企画運営していただき人気を集めています。今年度は、3日間で過去最高の1,155人がワークショップを体験しました。

③ 交流促進機能

□「チャレンジもったいない2014」を実施（8月）
初めての企画に528人もの親子が参加してくれました。夏休み最後の土曜日一日をオープンハウスとして、夏休み宿題にもなるリサイクル工作を中心に、16の体験型ブースを出展しました。



はぎれを使ってチューリップづくり

④ 情報提供機能

□リサイクル学校を開設
宇都宮市のごみ分別（5種13分別）の流れを実物で確認できるリサイクル学校を開設しました。手づくりですが、高い評価をいただいています。施設見学のなかで、スタッフが説明し体験してもらっています。

□マスコミで積極的に情報発信

- ① TOKYO FM（全国38局ネット）で、6月環境学習センターの活動を紹介しました。
- ② Radio Berry「エコラジ」に出演、3月の毎週金曜日に4回放送されました。フォーラムの活動を中心に紹介しました。



新設されたリサイクル学校

⑤ 体質強化機能

□職員の見学研修を実施（11月）
4月に開設された芳賀地区エコステーションを、見学スタッフを中心に見学研修を実施しました。
最新鋭のごみ焼却施設とごみから資源を取り出す施設で、環境学習に役立ついくつかのノウハウを得ました。



発電を体感できるコーナー